



## 青山学院大学

AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY



## 戸田市連携講座

### 「首都」から歴史を読みなおす ～「東京一極集中」の歴史的前提を問う

第1回 5月17日(土)午後2時～3時40分  
※午後2時10分まで開講式を実施

#### 古代日本における「首都」の誕生

文学部史学科 教授 小倉 慈司 氏  
古くは支配者の本拠地が「宮」とされてきましたが、それが「都」となり、ヒト、そしてモノが集中するようになります。そのために交通路も整備されることとなりました。7世紀以降、中国の都市を手本に藤原京、平城京といった都市計画に基づく都城が建設されますが、この都城と地域社会との関係はどのようなものであったのでしょうか。それを探っていきます。

第3回 5月31日(土)午後2時～3時30分

#### 近代日本と首都 —東京に集まった華族たち—

文学部史学科 教授 小林 和幸 氏  
近代国家形成の過程を概観しながら、明治初年の「華族」創設、旧大名たちが領地の統治を離れ、東京移住が進められるなかで生じた葛藤や彼らの対応、さらに立憲政治が施行された後の華族たちの地域とのつながりなどについて、諸史料から検討します。

第2回 5月24日(土)午後2時～3時30分

#### 中世日本と「首都」 —京都・鎌倉・地域—

文学部史学科 准教授 谷口 雄太 氏  
中世の主役ともいえる武士（武家）を中心に、人々は首都（京都・鎌倉）とどう関係していたのか見ていきます。具体的には、地域に加え「首都」でも活躍する鎌倉期の武士、「首都」に集住する室町期の武家、各国に下向しても「首都」を志向する戦国期の大名といった「意外な」実態を紹介して、分権が強調されがちな中世のもうひとつの姿＝集権について考えます。

第4回 6月7日(土)午後2時～3時30分

#### 「江戸」—情報から「首都」を考える

文学部史学科 教授 岩田 みゆき 氏  
文化文政期から幕末期にかけて、巨大都市江戸に集まる情報や、江戸から発信される情報について、日記・記録などからいくつかの事例を紹介しつつ、「情報」という切り口から、江戸の「首都」性について考えます。

会場：戸田市文化会館304会議室 対象：市内在住・在勤・在学者

定員：①会場60名 ②オンデマンド受講 ※期間限定、申込者限定公開

申込方法：申込フォーム(下記URL・二次元コード)・電話・メール ※4月3日申込開始

<https://www.city.toda.saitama.jp/ques/questionnaire.php?openid=1299>

問合せ：戸田市民大学事務局(教育委員会 生涯学習課内)

電話 048-441-1800(内線308) メール [simin-daigaku@city.toda.saitama.jp](mailto:simin-daigaku@city.toda.saitama.jp)

